

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 103 号 2025 年冬号

2025 年 12 月 1 日発行

収穫祭です。一年間、ご苦勞様でした

今年の収穫祭は例年より一日早い 11 月 2 日の開催にし、好天に恵まれて、多くの参加者（31 名）で賑わいました。前日までの下準備があり、朝から臼と杵の洗いや火起こしもち米の蒸し、あんこなどの味付け、豚汁作り等多くの会員で進められました。11 時頃からは餅つき音がビオトープに響き渡りました。子供達も周囲からの掛け声に合わせて頑張って搗きました。一年間の活動に感謝して、青空の下で搗きたてのあんこ餅や大鍋で煮込んだ豚汁、焼き芋を美味しくいただきながら盛んに歓談しました。

（小笠原 智）

収穫祭に参加して



美味しいものがあるとみんな笑顔になります

晴天のビオトープで収穫祭に初参加しました。メインイベントの餅つきでは男子は勿論、女子、子供達も力を込めて杵を振りました。搗き立てのお餅はあんこ、きな粉、大根おろしで堪能しました。参加者は泥にまみれ、汗を流して育てた立派なお米が目の前にある喜びを実感できたことでしょう。この格別な達成感を共に作業した会員の皆様と分かち合い、感謝の気持ち溢れる素晴らしい一日となりました。

（小谷 千満樹）



餅つきも気合が入っています



餅が熱くて切ってあんこ鍋に入れるのも大変です

猛暑と雑草が多くて稲刈りが大変でした

今年も台風は来ましたが、直接的な被害はありませんでした。それでも田んぼの土が緩く、根張りも弱いのでうるち稲は風で少し倒れました。何度も田の草取りを行いました、外来種雑草等の多くが取りきれいていません。一部倒伏もあったので、1時間も作業するとへとへとになりました。9月6日から15日までの4日間で延べ32人参加です。名戸小5年生は16日に初めての稲刈りに挑戦しました。鎌の使い方や束ね方を説明して、一緒に作業

をしましたが今年は児童数が多く（児童70余名で会員立ち合いが6名）、どんどん刈り取りが進んで束ねも一部きれいにできない状況でした。次回は全体に目が届く体制を再度検討します。刈り取った稲束はパイプ棚で天日干しとしました。昨年までは鳥除けネットを掛けていましたが、雀が少なくなっているようなので掛けませんでした。しかしどこから飛来したのか、ハス池側では十数羽が来襲して少なからず食べられたようです。

（小笠原 智）



雑草と深田んぼでの稲刈りは大変です



雀が天日干しの稲にしがみついて食事中です

名戸ヶ谷小学校 校長からのお礼文です

大変お世話になっております。

お忙しい中 貴重なお米を頂戴しまして、ありがとうございました。私がお米を頂いて手にしたときに、名戸ヶ谷ビオトープの価値を改めて、感じると共に、名戸ヶ谷小にとってはかけがえない宝であることを実感しました。ビオトープの会の皆様の日頃の活動に感謝すると共に、これからの活動が末永く続くよう名戸ヶ谷小として、微力ながら協力させていただきたいと思います。

10月29日、なかよし学園プロジェクトの講演会を学校で実施する予定です。世界には様々な国があることを、まずは、少しでも子どもたちと共有していきたいと思います。お米を提供した国での活動の最終的な報告会が1月以降にありますので、日程がまとまりましたら、お知らせさせていただきます。ぜひ、お越しください。

寒さ厳しい折、学校ではインフルエンザも流行してまいりました。十分に御自愛下さい。ありがとうございました。

名戸ヶ谷小学校 校長 津久井 智洋

名戸小児童たちの稲刈り体験感想です

5年1組

- ・とても暑かったけど自分達が植えたのがしっかり育っていて嬉しかったです。刈っている時にも色々な作業があって「やっぱり大変なんだな」ということを改めて自覚しました。最初は難しそうと考えていましたが、やってみるとすごく楽しかったです。
- ・今回初めて稲刈り体験をして、最初に驚いたのが鎌がギザギザだったということです。稲の刈り方、束ね方、乾燥のさせ方などいろいろなことを知ってとっても楽しかったです。
- ・減多にない体験をさせていただいてものすごく楽しかったです。こんなに大変だとは知らなくて、ビオトープの人たちがすごく大変な思いをしていることがよくわかりました。特に稲を束ねる作業がとても楽しかったです。ありがとうございました。

5年2組

- ・人の力だけで稲を刈るのがこんなに大変だとは思いませんでした。これからはもっと稲やお米に関係している人に感謝して食べようと思います。
- ・自然とともに米の大切さや作る大変さを知れて楽しかったです。
- ・カマキリがすんごいこわかった。

5年3組

- ・みなさんと一緒にやった稲刈り体験は、美味しいお米をみんなで食べてるぐらいにすごく楽しかったです！
- ・間近に稲を見たり、自分で稲を刈れて嬉しかった。
- ・田植えから稲刈りまでみんなで協力してやって、とてもいい経験になりました。



脱穀は天気を見ながらの作業です

天日干し稲の脱穀作業は天候に左右されます。10月14日に会員12人参加で早い時間の8時頃から始め、正午頃で終わらせました。今年も足踏み脱穀機とモーター連動脱穀機での作業ですが、皆さん慣れてきているので順調に進みました。終了後に藤心ライスセンターに粳摺り・精米をお願いしています。今年もビオトープでの天日干しでは粳の乾燥は不十分でセンターで再度天日干しをしています。収穫量は稲刈りや脱穀時に昨年より少ないと感じていましたが大幅に減少でした。精米で「もち米 53.6 kg・うるち米 52.6 kg」1反当たりの玄米収穫量換算は一般の田んぼの約1/3



脱穀作業は連携よく順調です

以下です。名戸小の脱穀は天候予測での調整困難で中止としました。(小笠原 智)

秋の生きものの観察会

9月21日(日) 9:00～10:00 晴れ 気温27℃
秋の観察会を実施しました。掲示板へ案内済みで久方ぶりに市民家族11名(うち児童6名)の参加がありました。早速、捕獲網を持ってビオトープ内を回りアメリカザリガニ、カナヘビ、コバネイナゴ、チョウセンカマキリ、シオカラトンボ、アゲハチョウなどを捕獲しました。当日はビオトープ定例活動日で作業

中に見つけたヘビ「ヤマカガシ」と以前見つけた「アオダイショウ」のスマホ画面を見せて驚きです。講師の松清氏からこれらの生きものに関連する種類や外来種の説明をして皆さんは熱心に聞いていました。終えてから捕獲した生きものを元の場所に放し、父兄には名戸ヶ谷ビオトープホームページの案内も行い、関心を持って頂けたかと思います。

(藤平 三郎)



↑ 三角池でザリガニ探し
捕獲網を持ち昆虫探し →



← トンボを捕まえた!
↓ 松清氏から生きものの説明



秋の生態系調査

10月17日（金）晴れ 気温 22℃ 9:00～10:00

朝から久しぶりの秋晴れとなり参加者は松清講師、他3名でした。捕獲網を持ちA、Bゾーンを回り捕獲、観察をしました。アキアカネ、シオカラトンボが飛び交い鳥類はあまり見かけず、蝶類が花の蜜を求めて多く飛び交っていました。三角池で特定外来生物のミドリガメ幼体を見つけ奥に逃げ込んでしまいました。飼いきれなくなり放したものと思われます。今回確認できたものは40種となり、去年の同時期は32種でした。引き続き皆さんの協力で環境保全維持に努めたいと思います。（藤平 三郎）



生きもの観察中



観察したものをリストアップ



アオイトトンボ 交尾中

月例活動状況の報告（9月から10月まで）

※11月の月例活動は休みです

9月21日（日）

朝から晴れ渡り北西からの涼しい風が吹いていました。作業は、A、Bゾーンのヨシ、つる草などの刈り取りを行いました。温暖化で草など成長も早く、次回以降も継続して作業をします。終えてから会員差し入れの菓子を頂きながら歓談しました。

当日は「秋の生きもの観察会」で、久方ぶりに市民家族連れ11名の参加がありました。ビオトープ内を巡って昆虫などを捕獲し、松清講師の生きものの説明をしっかりと聞いていました。



Bゾーン北側木道沿いヨシの刈り取り



ザリガニ釣り場ヨシの刈り取り



Aゾーン南側水路沿い
草刈り機による刈り取り

10月19日（日）

曇り空で程よい気候でした。作業は、はざ掛けパイプ解体と倉庫へ収納、Bゾーンのヨシ、ツルクサなどの刈り取り、そして稲わらを切断し田んぼへの散布を行いました。終えて、会員手作りの菓子などを頂き歓談しました。

又、11月2日の収穫祭案内と11月の定例活動は休止の旨を皆さんに伝えました。（藤平 三郎）



はざ掛けパイプ棚の解体



倉庫へパイプ収納



稲わら切りと田んぼへの散布

荒井和政君の「調べる学習コンクール」報告です

息子の夏休みの宿題のテーマは「お米」でした。

田植えを体験してみたいという軽い気持ちで入会しましたが、実際には株踏みから始まり、田植え、稲刈り、収穫祭での餅つき、薪をくべたり、1年を通して楽しく学ばせていただきました。

お米を育てるといってもさまざまな方法があること、品種が非常に多いこと、自然を守りながら生態系や環境を考えるビオトープの取り組みの素晴らしさ、そして湧水が減っている現状。さらに、農家が減りお米が高騰し、米離れが進むなかで、スマート農業の必要性を知ることもしました。日本の農業について、少しですが理解を深められたと感じています。

ビオトープの皆様のご協力のおかげで、『調べる学習コンクール』では柏市の代表に選んでいただき、全国大会へ進むことができました。本当にありがとうございます。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(荒井 聖)



農水省で当時の小泉大臣と握手する和政君

12～2026年2月の活動予定

- 12月 21日 定例活動日（年末の掃除）
- 1月 18日 定例活動日（ニホンアカガエル産卵場所整備）
- 24日 第24回定期総会
- 2月 15日 定例活動日（ニホンアカガエル卵塊調査、他）

注）詳細の日時・作業内容は担当幹事からメールにて連絡します。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）

「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷記念病院前」下車

面積：約4,400㎡

湿性植物：53種 生きもの：133種

（2024年、年間を通じて観察した種類）



<https://nadowaga-biotope.com/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会
発行責任者：小笠原 智